

平成 30 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカ I 講座 准教授
氏名 Name	中村未樹
専門分野 Academic Field	イギリス演劇

主たる研究テーマ Principal Research Subject	エリザベス朝演劇
<p>エリザベス朝の英国の舞台における演技と演劇空間のコミュニケーションを考察することを目的として、平成30年度は以下の四つの作業を行った。</p> <p>(1) エリザベス朝において出版された捕囚体験記、及び当時のロンドンにおける外国人をめぐる対応との関連においてシェイクスピアの初期喜劇を考察した。その成果の一部として論文「捕囚、物語、ホーム—『間違いの喜劇』における外国人」を執筆した。(Ex Oriente 第26号に掲載予定)</p> <p>(2) シェイクスピアの初期喜劇における愛の問題についてパッションの観点から考察した。その成果として論文「『ヴェローナの二紳士』におけるパッションの抑制と擁護」を執筆した。(『言語文化研究』第45号に掲載予定)</p> <p>(3) 『リチャード二世』におけるパッションと歴史学、政治学の関連性について、エリザベス1世、エセックス伯爵についても言及しながら考察した。その成果として研究ノート「『リチャード二世』におけるパッションの政治学と歴史学」を執筆した。(『英米研究』第43号に掲載予定)</p> <p>(4) 17世紀初頭のイギリスにおける外国人への対応の問題、また海外への旅に関わる問題を特に法という観点から検討し、その関連においてシェイクスピアの『ペリクリーズ』を考察した。この課題については次年度も継続して行う予定である。</p>	